



学会ホームページ <http://jasce.jp>

034号(2016年9月23日)

目次

第13回全国大会情報
『協同と教育』への投稿募集
学会新体制
会長就任にあたって 杉江修治
学会ワークショップ 今後の予定(判
明分)
学会ワークショップ開催報告
各地の研究会・勉強会

第13回全国大会情報

来る11月5・6日(4日はプレ大会)に三重大学にて、日本協同教育学会第13回大会が開催されます。多くの皆様のご来場を心よりお待ちしております。大会スケジュールの詳しい内容につきましては随時HPにアップされますので、定期的にHPをご覧ください。(10月1日(土)までに発表スケジュール等の情報をHPにアップします)。参加申込者の方への大会実行委員会からのメールは jasce13@yahoo.co.jp からお送り致しますので、このアドレスからのメールを受信できますよう設定をお願い致します。

大会テーマ

アクティブラーニングの核としての協同教育

大会会場:三重大学(三重県津市)

プレ大会:三重大学教育学部附属
中学校

大会:三重大学工学部棟

1. 大会スケジュール

◇11月4日(金):プレ大会
午後 三重大学教育学部附属中学校における公開授業ならびに実践検討会

◇11月5日(土):本大会1日目ならびに情報交換会

9:30~9:50	開会式
10:00~12:00	セッション①
12:15~13:00	総会
13:40~15:40	セッション②
16:00~18:00	セッション③
18:30~	情報交換会

◇11月6日(日):本大会2日目ならびに記念講演

8:50~10:20	セッション④
10:40~12:10	記念講演
13:00~14:30	セッション⑤
14:45~15:00	閉会式

※今年の本大会では、記念講演、数件のフォーラムの他、研究発表約20件、実践報告約40件、ワークショップ・ラウンドテーブル各10件程度が開催予定です。全てのセッション枠においてこれらの各企画が行われます。

2. 大会参加費

会員 事前 3500円 当日 4000円
非会員 事前・当日とも 4000円
学部生・大学院生 1日につき 2000円(プレ大会を除く)

3. 情報交換会費

会員・非会員とも 4000円、事前・当日とも同額

学部生・大学院生 3000円

4. 事前参加申込と参加費入金

受付締切日 10月7日(金)
(注)締切日に間に合わない場合は、大会当日、大会受付で参加を受け付けますが、大会受付の混雑を避ける

ために、できるだけ事前登録をお願いします。

5. 会場へのアクセス

◇プレ大会:JR・近鉄津駅西口(近鉄側)正面信号交差点左折後、徒歩約20分

◇本大会:国道23号線大学病院前交差点(JR・近鉄津駅東口JR側バス停4番乗り場出発のバスにて大学病院前、または大学病院にて下車)から大学構内海側(風車側)へ

6. 問い合わせ先

taikai13@jasce.jp

プレ大会に関しても、こちらにご連絡ください。附属中学校へのお問い合わせはお控え下さい。

(大会実行委員長

三重大学教育学部 中西良文)

『協同と教育』への投稿募集

『協同と教育』への投稿は随時受け付けております。投稿受理から査読を経て採択が決定されるまでに通常、数ヶ月を要します。学会機関誌『協同と教育』への積極的な投稿をお待ちしております。

学会新体制

理事の互選により、次期会長として杉江修治教授(中京大学)が選ばれました。新会長指名理事4名を加え、新理事会は以下の12名で構成されます。

会長:杉江修治

理事:石田裕久、緒方 巧、久保田秀明、甲原定房、須藤 文、関田一彦、高旗浩志、中西良文、水野正朗、伏野久美子、安永 悟(5音順:敬称略)

JASCE

学会ワークショップ<ベーシック>開催報告

● 7月30日(土)～31日(日)

会場:創価大学(八王子市)

教育学部棟4階 B401教室

講師:水野正朗

創価大学にて協同学習ワークショップのベーシックを開催しました。参加者は25。参加された方々からは、「今まであやふやだった協同学習の定義を今回知ることができ、技法だけでなく理論を知ること、目的を持って授業にどんどん取り入れていきたい」「“学習は社会的営みである”という言葉が一番心に残りました。グループ活動を通して、その裏にある教師のねらいの大切さをあらためて感じ、今後の自分の授業に大きくプラスになりました」などの感想が寄せられました。初日に開催した懇親会も大勢の参加で盛り上がりました。(水野)

● 8月27日(土)～28日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)

人間関係研究センター D棟

講師:長濱文与・石田裕久

名古屋で南山大学人間関係研究センター主催の協同学習ワークショップ(ベーシック)が開催されました。

参加者は35名。参加された方々からは「教育現場での指導にあたって柱・軸になるものが見つかり、大きな意味を見出した」「他分野の人との交流から、その現場の現状や悩みを知ることができ、互いに学び合えた」「今まで漠然と“協同的な活動”を取り入れてきたつもりだったところが具体的にになり、改善すべき点が意識できるようになった」などの感想が寄せられました。(石田)



● 9月17日(土)～18日(日)【主催】

会場:じばさん三重(四日市市)

5階研修室5

講師:水野正朗

近鉄四日市駅前のじばさん三重(四日市)でベーシックを開催しました。三重県内での認定ワークショップの実施は今回がはじめてです。19名の参加がありました。島根・鳥取・香川・東



京など遠方からの参加もありました。看護関係の方が11名と多かったのも今回の特色です。「理論的でありながらも思いのこもったワークショップで大変楽しく受講しました」「ふだん経験することのない学習者の立場になることで、教員目線からは気づけないことを多く気づくことができました」「教師が学び続けることの必要性を実感しました」などの感想が寄せられました。今度はアドバンスを受講しようとの意欲を多くの方が持ってくださいそうです。(水野)



学会ワークショップ<アドバンス>開催報告

● 7月30日(土)～31日(日)

会場:創価大学(八王子市)

教育学部棟4階 B403教室

講師:伏野久美子

創価大学にてアドバンスのワークショップを行いました。今回も全国各地(沖縄からも)から22名の方が参加して下さって、活発な学び合いを行いました。今回はアドバンス受講が初めてという方が比較的多かったので、ワークショップ開始時は少し緊張した面持ちの方もいらっしゃいました。しかし、チームビルディング活動や話し合

いを繰り返すうちに、みなさん徐々に打ち解けて、お昼休みにはもうすっかり仲良くなっていました。アドバンスは考える活動がどんどん続きますし、アクティビティも複雑ですので、みなさんくたくたになりながらも、今まで思い違いをしていた点に気がついたり、協同学習から協同教育という考えへのつながりをしっかり考えたりしていただくことができましたと思います。初日のワークショップの後の懇親会での飲み物はさぞおいしく感じられたことと思います。今回参加された皆様、ご参加本当にあり

がとうございました。更に実践を積まれるともっと疑問点が出てくると思います。今度はリピーターとして講師を困らせるような質問を持ってご参加いただけると嬉しいです。一緒に考えて行きましょう。(伏野)



JASCE

会長就任にあたって 杉江修治

今回の役員選挙で選出された理事の互選により、新しく会長をお引き受けすることになりました。会員の皆様、よろしく願いいたします。

2004年に日本協同教育学会が設立され、12年が経過しました。この間、安永、関田の歴代両会長にしっかりと基礎固めをしていただけ、学会は大きく発展してきました。

協同教育学会は、教育の基本原則としての「協同」を軸に、さまざまな研究・実践を重ねてきた方々が、それぞれの立場を声高に主張するのではなく、たがいに情報交換をし、理論と実践を鍛え合っていく場としてできたものです。当初の意図にたがわず、さまざまな分野とさまざまな校種から参加をいただくようになりました。刺激の多い学会となっています。

1980年代に導入された新しい学力観以降、子どもたちに本当に

必要な学力とは何かという議論が進み、日本の教育実践が、それを実現する手立て、考え方として協同の学び、アクティブな学びを追究してきた協同教育学会と同じ方向を向くようになりました。ただ、日本の教育実践研究の主流はまだ技法に終始している印象があります。教育論として、実践にそのまま結び付くことができ、実効性のある協同教育学会の研究と実践の積み重ねには、その文化を変えるという役割が期待されていると感じます。

なお、ICTの導入、特別支援教育、その他、新たな動きが活発化してきています。その技法や視点の有効性を認めつつ、ICTに振り回される実践であってはならないこと、特別支援を異質性からアプローチしてしまわないこと等、教育の本質を押さえながら新しい課題に対応していく必要性が出てき

てもいます。多様性を含み込んだ本学会であればこそ、大事な基本を忘れずに新しい教育の動向を主導していくことが可能だと思います。

私の任期3年は、すべての校種、学習領域で大きな変化が予想される期間であるようにも感じています。私自身はもはや古いタイプの研究者に属していますが、新しい挑戦がこの学会でなされることについては積極的に応援したいと考えます。学会員の皆様の力と意欲に期待するところ大です。

会長をお引き受けして時日も経っていませんので、舵を握り慣れてはおりません。さまざまなご意見をお寄せください。会員の皆様の研究成果も、それを共有するために積極的にお出しただけだと考えます。まずは11月の三重大学での第13回大会でお会いしましょう。

学会ワークショップ 今後の予定 (判明分)

●ベーシック

平成29年1月5日(木)～6日(金)【主催】

会場:北海道立道民活動センター
カデル2.7 5F540会議室(札幌市)
講師:水野正朗

●アドバンス

11月12日(土)～13日(日)【公認】

会場:南山大学(名古屋市)人間関係研究センターD棟
講師:関田一彦・石田裕久

●一日研修

11月27日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)名古屋キャンパス5号館0522教室
講師:水谷茂

12月11日(日)【主催】

会場:中京大学(名古屋市)名古屋キャンパス0号館0604教室
講師:有本高尉・水谷茂

定員になり次第、受付を終了します。お申込み方法、ならびにワークショップの詳細は下記URLをご覧ください。(https://jasce.jp/1031workshop.php)

JASCE

各地の研究会・勉強会

(北海道地域)

北海道アクティブ・ラーニング
(協同と創造の授業づくり)研究会
◇夏季研修会の報告

第2回研修会を8月9日(火)に開催しました。講師は安永悟先生(久留米大学)、鹿内信善先生(福岡女学院大学)でした。

まず午前中は、安永先生のご指導のもと、協同学習・協同教育の理念と基本的な技法を、グループワークを交えて学びました。午後は鹿内先生のご指導のもと、動機づけから知識の適用にまで及ぶ看図アプローチの実例を体験しつつ学びました。全道(関東からご参加の方も1名!)から集まった約70名の参加者それぞれに深い感銘を残した楽しいワークショップとなりました。

お問い合わせは事務局 酪農学園大学化学研究室 大和田まで(owada@rakuno.ac.jp, 電話番号 011-388-4777)



(東京・関東地域)

協同教育カフェ in 八王子

◇9月17日、創価大学で協同学習の初学者向けにオープンカフェを開きま

した。新潟や愛知、そして伊豆大島などちょっと遠方の方も含め、21名の方が初参加されました。今回は5つのブースを同時に開き、1セッション30分として参加者はそのうちの3つを選んで巡回参加する新しい試みで行いました。カフェ常連の主催者5名が1つずつブースを担当し、それぞれの実践や考えを参加者と共有していくこの方式は、1セッションあたりの人数が数名となり、突っ込んだ質疑がしやすいのが特長です。3つのブースを回った後は、振り返りの時間もしっかり確保。5枚のホワイトボードを用意し、10分ずつ同じブースに参加した人同士が集まって、学びや気づきをホワイトボードに書き込んでいきます。10分経つと、別のブースのホワイトボードの周りに移動し、そこに書き込まれた内容を見ながら互いに振り返りを共有し、新たな書き込みを加えます。こうしてアウトプットとインプットを繰り返しながら、2時間半にわたるカフェは盛会のうちに幕を閉じました。

連絡先: 関田一彦

(sekita@soka.ac.jp)

(名古屋・東海地域)

名古屋・協同の学びをつくる研究会

◇8月例会を8月4日(木)18時30分から名古屋大学教育学部で開催しました。テーマはLeading Teaching for Active Learning: Lessons from Japanese Manabiai。国際授業研究学会(WALS2016、イギリス、エクセター大学)での国際シンポジウム準備を兼ねました。提案者は

副島孝(愛知文教大学)、鈴木稔子(聖霊中高等学校)、水野正朗(名古屋市立桜台高等学校)ほか。愛知県小牧市における「学びあう学び」10年間の取り組みと、それを実践する教師たちの授業観を多角的に分析しました。

◇次回の開催予定

10月特別例会を10月8日(土)13時30分からプライムセントラルタワー名古屋駅前店で開催します。テーマは「審議まとめを受けて、アクティブラーニング型授業を定着・発展させる」です。第1部:水野正朗のワークショップ(模擬授業を含む)、第2部:溝上慎一先生(京都大学)の講演。申し込みが定員に達したので、受付は終了しました。

連絡先: 水野正朗

(mizunokita@yahoo.co.jp)



(大阪地域)

協同学習を用いた看護教育研究会

◇第12回研究会を7月22日に開催しました。梅花女子大学の有田弥棋子先生が「老年看護援助論」の授業実践を報告され参加者で意見交換しました。また後期からの看護学臨地実

JASCE



習や授業に活用する目的で、「建設的討論法」を体験しました。協同学習への関心が高まる中、本研究会も毎回新たな参加者を迎え和気あいあいと学び合っています。

◇今後の開催予定

場所: グランフロント大阪 アクティブスタジオ

時間: 19時～21時

日程: 9月30日、11月25日、2017年1月27日、3月24日

参加申し込み先 緒方巧(梅花女子大学 t-ogata@baika.ac.jp)

(岡山・中国方面)

協同学習研究会

◇9月研究会の報告

第2回協同学習研究会(9月3日)は34名のご参加を頂きました。今回は津山市立高田小学校の絹田隼基先生にご発表頂きました。6年生国語『風切るつばさ』を題材とした授業です。当方の手違いにより、予定と異なる映像を視聴する事態になりました。絹田先生をはじめご参加頂いた先生方に謹んでお詫び致します。公開授業時に収録した映像を視聴するはずでしたが、その次時の授業を拝見す

ることになりました。学習に積極的に向かう子どもたちの、普段どおりの姿を拝見でき、多くの示唆を得られた研修となりました。学会長の杉江先生からも、「少人数の学級の中で、関わりすぎず、子どもたちに主体を預けていく絹田先生の姿勢がとても良かった」というコメントを頂きました。

◇今後の開催予定

11月19日(土)、岡山個集研との共催による”協同学習研究会EXTRA”を開催します。小学校と中学校の先生の実践発表を行います。また第3回(12月3日)は予定どおり岡山市立福浜中学校による校内研修と授業改善の取組をご発表頂きます。参加希望の方は事前に高旗までメールでご照会ください。開催日の一ヶ月前を目途にご案内差し上げます。

詳細は学会HPの「各地の勉強会」をご覧ください。

(<https://jasce.jp/1082schedule.php>)

連絡先: 高旗浩志(岡山大学教師教育開発センター)

E-Mail :takahata@okayama-u.ac.jp

(福岡・九州方面)

授業づくり研究会

◇協同教育フェスタ

第4回協同教育フェスタを、7月23日(土)午前10時～午後5時、久留米大学御井キャンパスで開催しました。第1部の講師は石山信幸先生(久留米市立南筑高等学校)。テーマは「協同教育で小学校から大学までを繋ぐWS-私たちはどのような社会人を育てたいか」。校種を越えた交流を通

して、子どもたちを長期の視点で見た育て方を参加者みんなで考えました。第2部の講師は高旗浩志先生(岡山大学教師教育開発センター)。テーマは「『新しい自分に出会える授業』を創るために-安心して、夢中になって学べる教室を」。「学習する集団」を実現できている授業実践映像を視聴し、教師の実践知を参加者全員で読み解く試みを行いました。学内で行った懇親会にも大勢が参加され、なごやかな雰囲気でした。

◇今後の開催予定

今後の開催予定は、9月24日(土)、12月10日(土)午後1時～午後5時。会場は久留米大学御井キャンパスです。各イベントの参加申込みは安永悟研究室のHPからお願いします。

(<http://yasunaga.me/wiki.cgi>)

連絡先: 安永悟

(yasunaga_satoru@kurume-u.ac.jp)